

大阪大学経済学部単位修得チェッカー ver 1.0 使用マニュアル

ご使用の前に

①この単位修得チェッカーは大学から配布された「全学共通教育科目 履修の手引き 2016」および「平成 28 年度 学生便覧」(経済学部)を参考に作ったものです。慎重に内容を検討して作成しておりますが、私の誤解、チェッカーの作成ミスなどがあるかもしれません。単位修得は非常に重要な問題です。このチェッカーはあくまでも目安と考えていただき、各自でご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。**このチェッカーによって単位修得に関して不都合が生じても、責任は負いかねます。**

②平成 28 年度入学の方を対象としています。他の年度は仕組みが違うかもしれません。違うか違わないかもわかりません。

③著作権ガー、とか言いませんので、勝手に改造してください(同じフォルダーに入れてあるもう一つの PDF ファイルも利用してください)。でも、フィードバックしてくれたら、ウレシイ。

④使用者の皆さんに入力していただくのは**ピンク**のセルだけです。それ以外の部分は変えないでください。

マニュアル

①KOAN の「単位修得状況照会」のページを表示します。「過去を含めた全成績」です。

②そこに表示された単位を、カテゴリーごとにチェッカーに入力します。**ピンク**のセルに入力してください。数学 A・B、経済学 A・B は修得済みの場合は 2 を、未修得の場合は 0 を入力してください。

③「残り単位数」は、「卒業要件単位数」から「修得単位数」を引いた値です。正の数の場合(つまりまだ履修の必要がある場合)は、科目名のセルが**オレンジ色**に変わります。「残り単位数」のセルは**水色**になっていますので、これが 0 以下(=白)になるように、来セメスター以降、頑張ってください。負の数になっている場合は、「その他」に回します(自動で計算されます)。「全学共通教育科目」

の全カテゴリーをクリアしたのに、「その他」のセルがオレンジになっている人は、不足分を補ってください。

④「全学共通教育科目」の合計欄には、ピンクのセルの合計値が入っています。「その他」は除いています（含めるとダブルカウントになります）。

⑤「専門教育科目」の「選択科目」、「他学部専門教育科目」、「コミュニケーションデザイン科目」、「グローバルコラボレーション科目」、「全学共通教育科目からの充足分」は卒業要件単位数が決まっているわけではありません（これらの合計が要件を満たせば良い）。したがって、「専門セミナー」、「研究セミナー」、「選択必修Ⅰ」、「選択必修Ⅱ」の卒業要件単位数をクリアしていれば、どこから単位を持ってくるでも OK です。ただし、「他学部専門教育科目」、「コミュニケーションデザイン科目」、「グローバルコラボレーション科目」は合算して 12 単位、「共通教育系科目」からは 4 単位、「専門基礎教育科目」からは 4 単位、という上限がある点には注意してください。チェッカーでは「合計」の欄に、これらの上限を超えないように考慮した値が表示されます。

⑥卒業要件をクリアすると、「メッセージ」の欄に「卒業おめでとうございます！！」というメッセージがでます。

⑦画面右下の「計算欄」は自動計算のためのものです。変えないでください（本当は不要（＝各セルの計算式にちりばめられるもの）なのですが、私のようなポンコツはこうやって置いておかないと、わけがわからなくなります）。

⑧単位修得に関する細かいルールは、「全学共通教育科目 履修の手引き 2016」および「平成 28 年度 学生便覧」（経済学部）をご覧ください。

チェッカーを作りながら思ったこと

ここからは、単位修得（制度）について、私が感じたことです。専門教育科目で 80 単位修得する必要がありますが、ここに計 8 単位だけ、全学共通教育科目の単位を合算することができます。専門教育科目が大変そう、と思う人は、一般教養の授業を頑張って、単位をたくさん（必要数）取っておくとよいでしょう。

このチェッカー、PC でなければ使えないという最大の欠点がありますが、今後はスマホで使えるとか、アプリにするとか、もうちょっと便利にしたいと考えているので、詳しい人は知恵を貸してください。

チェッカーについて質問があれば、@fullcount120 へお気軽にどうぞ。